

フッ素 (支燃性・毒性ガス 黄緑色・刺激臭)

分子式	F ₂	分子量	38.0	容器の色	ねずみ色
用途	ウラン 235 濃縮過程で使用される六フッ化ウランを製造する目的で単体フッ素が使用される。				
該当法規	高圧ガス保安法、労働安全衛生法、大気汚染防止法、船舶安全法、航空法、港則法				
物理的性質	<p>支燃性、毒性の黄緑色・刺激臭のガス</p> <p>比重：1.31</p> <p>沸点：-188</p>				
化学的性質	<p>全ての元素の単体の中で最も反応性に富み、窒素を除くすべての元素と室温あるいは高温で反応し、また、多くの有機物をフッ素化する。</p> <p>きわめて強い酸化剤で、ほとんどの物質と活発に反応してフッ化物を作り、火災を引き起こす。反応が始まると反応熱が大きいため爆発的に反応することがある。</p> <p>キセノンやクリプトンのような希ガス元素とも直接反応する。</p> <p>多くの金属が室温から比較的低温でフッ素と反応する。</p> <p>水と激しく反応してフッ化水素と酸素を精製する。</p> <p>重合は起こらない。</p>				
注意事項	<p>貯蔵所の周囲には火気、引火性、発火物質を置かない。</p> <p>強力な酸化剤（酸素、ハロゲン等）や可燃物と一緒に置かない。</p> <p>容器は40 以下の温度に保ち直射日光の当たらない換気良好な乾燥した場所に保管する。</p> <p>容器はロープ又は鎖等で、転倒を防止、保管する。</p>				

フッ素 (支燃性・毒性ガス 黄緑色・刺激臭)

事故時の措置

消火方法	処理剤
漏えいしたとき	<p>バルブを閉めるなど、漏えいを止める。</p> <p>容器からの漏えいが止まらない場合、着火源を取り除き、部外者が立ち入らないよう周囲を監視しながら、納入業者・メーカーに連絡して指示を受ける。</p> <p>汚染地域での作業は、酸欠の恐れがあるため空気呼吸器を着用し必ず複数で行う。</p> <p>(圧力容器の腐食を防ぐため)漏出している圧力容器に水を散布してはならない。</p>
火災のとき ・ 周辺での火災のとき	<p>不燃性ではあるが、高温では分解して酸素を発生して支燃性を示し火災を助長する。</p> <p>支燃性の為、極力可燃物及び火災から遠ざける。間に合わぬ場合容器に水を掛け冷却する。容器の破裂に注意する。</p>
救急処置	<p>吸入した場合、新鮮な空気の場所に移す。鼻をかむ。うがいをする。場合により酸素吸入を行う。</p> <p>皮膚に付着した場合、直ちに流水で洗い流す。</p> <p>目に入った場合、清水で洗い速やかに医師の治療を受ける。</p> <p>いずれの場合も速やかに医者処置を受ける。</p>
特記事項 (人体に対する影響)	<p>皮膚・目を刺激し炎症を起こす。失明することがある。</p> <p>誤飲すれば悪心、嘔吐、腹痛、下痢、昏睡、衰弱、痙攣、虚脱、肺水腫、死に至る。</p>
緊急通報例 119 (消防署)	<p>1 どこで 市 町 番地 (株) 工場で</p> <p>2 なにが 「毒性のフッ素ガス」が</p> <p>3 どうした 「漏れています。」 「消防車出動をお願いします。」</p> <p>4 時間は 時 分 頃 です。</p> <p>5 けが人は 「けが人がいます。救急車出動をお願いします。」</p> <p>6 私の名前は 工場 課の です。</p>